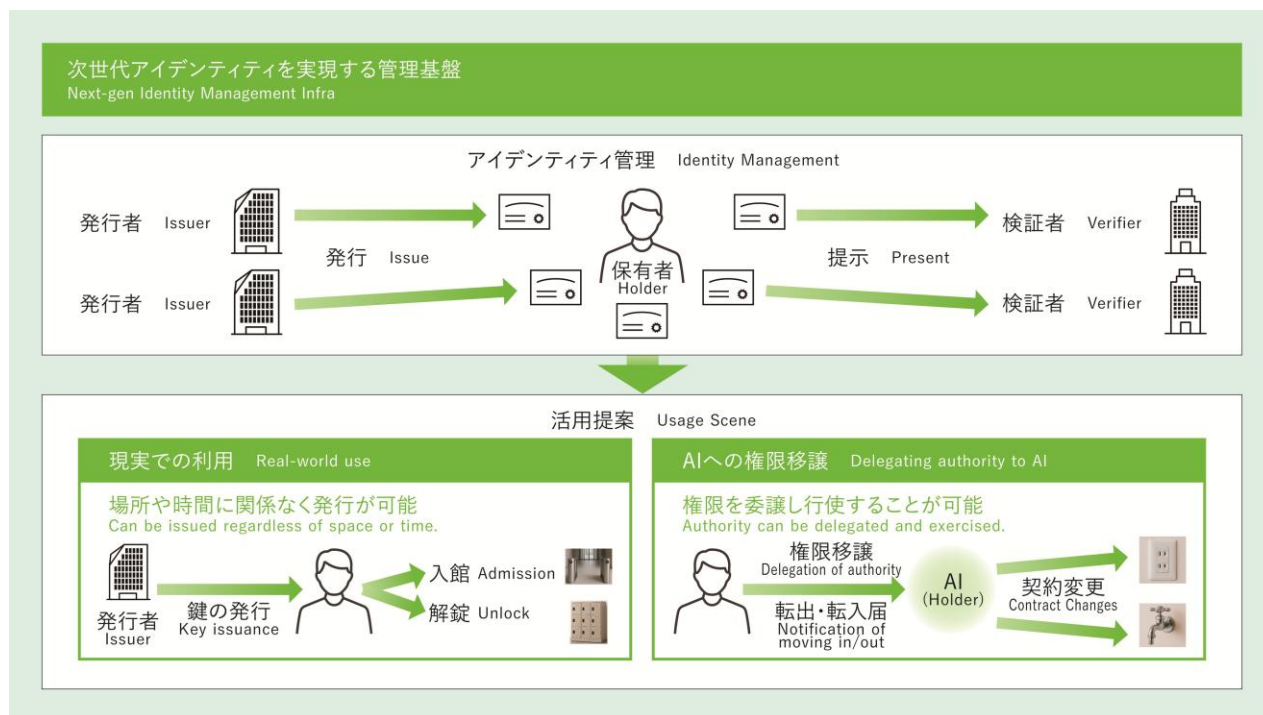


アイデンティティの安全な活用（発行・管理・提示）を実現します 次世代アイデンティティを実現する管理基盤

背景 – 技術課題

現代社会では、銀行口座の開設、オンラインショッピング、SNS利用など、個人のアイデンティティが日常的に多用されています。しかし、企業ごとの個別管理には限界があり、情報の分散がセキュリティリスクを高めます。不正利用やなりすましを防ぐために、より安全なアイデンティティ管理の仕組みが求められています。



研究目標 – 成果

個人が自らのアイデンティティを活用できるように、自己主権型アイデンティティを実装します。

技術ポイント

01 要素技術

- ・ 欧州での複数の実証実験を基に、相互運用性の高い自己主権型アイデンティティ (SSI) を実装
- ・ 中央機関に依存しないID管理を可能にする分散型アイデンティティ (DID) の採用

02 市中技術差異点

ルール整備が先行する欧州での実績を基に、世界で活用可能である汎用的な共通コンポーネント機能を差別化要素とし、高い実用性と柔軟な展開が可能

利用シーン 公共サービス・自治体

R&Dフェーズ 開発

技術確立予定時期 FY25-26

ビジネス化予定時期 FY26～

【出展企業】
株式会社NTTデータグループ 技術革新統括本部 Innovation技術部

【共同出展社/社外連携先】
—

【問い合わせ先】
イノベーションセンタ 広報担当

【関連Link】
—